

せだがやくしほんけいかく
世田谷区基本計画を知ってかんが
せだがやく おし
世田谷区に教えて！聴かせて！

キミのための イマ・ミライ コンテスト



しょうさい ぼしゅうきかん
コンテストの詳細（募集期間など）や
どうか
動画はコチラから →



世田谷区基本計画 ってなんだろう？

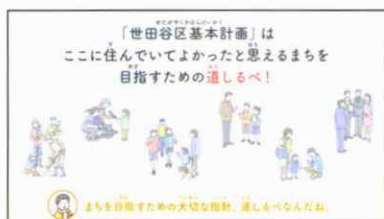
「世田谷区基本計画」とは、世田谷区の将来をどのようにしていきたいかをみんなで考えた計画のことです。ここに住んでいてよかったと思えるまちを目指すための大切な指針、道しるべです。この計画は、2024年から2031年までの8年間に取り組むべきことを決めています。動画でさらに詳しく説明しています！二次元コードからぜひチェックしてみてください！



動画のあらすじ



ある日、未来から8年後の自分がやってきました。未来の世田谷区がもっと良いまちになるために、過去の自分にどうしてほしいのかを伝えに来たのです。



主人公は8年後の自分から「世田谷区基本計画」について教えてもらいます。この計画が自分自身の将来に関わる大事な話だと知ります。



計画を実現するためには、自分たちが行動を変えることが必要だと考えた主人公。世田谷区の未来について、あなたも主人公と一緒に想像してみませんか？



コンテンツの詳細・
動画はコチラから



「キミのためのイマ・ミライ コンテスト」を開催します！

世田谷区内に在住している小学生、中学生の皆さんから、基本計画の内容を知って考えたことを表現した動画や作文などの作品を募集します。応募のあった作品の中から優秀な作品を表彰します！
たくさんのご応募お待ちしております！





第5回



#無電柱化の日
#東京の無電柱化

たくさん
応募してね!



「無電柱化の日」

フォトコンテスト

11月10日は
無電柱化
の日

募集
期間

令和7年 6月27日金～10月1日水

当日受付・投稿有効



テーマ① 電柱がなければ“もっとよくなる”風景
テーマ② 無電柱化したから“こんなにいい”風景



無電柱化って?

東京都では、防災・安全・景観の面から電線を地中に埋めて電柱をなくす無電柱化を進めています。



応募フォーム
はこちら▶



応募方法、詳細は
ウラ面をご覧ください

無電柱化されると...

防災



災害時、いざという時に

安全



歩きやすく安全な歩道に

景観



スッキリした東京の空へ

撮影場所

都内の道路から撮ったもの

募集部門

- ① 高校生以下の部(都内在住・在学の方)
- ② 一般の部(都内在住・在勤の方)※職業写真家を除く

都知事賞 4作品

賞状+5万円分の
ギフトカード



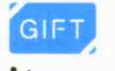
優秀賞 8作品

賞状+3万円分の
ギフトカード



入選 12作品

1万円分の
ギフトカード



ファミリーイベントも開催します!

日時 令和7年8月21日 木

場所 東京電力総合研修センター(日野市)

無電柱化設備の実物大モデルの見学や、
高所作業車昇降など様々な体験ができます!

対象 小学生と保護者、中学生・高校生等
(計100名程度)

募集期間 令和7年6月27日金～7月16日水

ご応募はHPもしくはコチラから▶

https://app.itto.co/mudenchuka2025_family_event/entry



応募概要

応募期間 令和7年6月27日(金)～10月1日(水) 当日受付・投稿有効

応募テーマ 1 電柱がなければ“もっとよくなる”風景
2 無電柱化したから“こんなにいい”風景

応募作品

- 都内の道路上で撮影した写真(撮影時期は問いません)
- 応募者本人が撮影したもので、未発表・未応募のものに限る
- 応募はデジタル写真のみ(現像・プリントした写真の募集はありません)
- 1ファイル20MB以内のJPEGファイルで、ファイルサイズ縮小を除き、加工していないものに限る

応募対象者

- 都内在住、在勤、在学の方(職業写真家を除く)

応募数

- 応募者一人につき各テーマ5点まで(入賞は一人1点)
※「高校生以下の部」と「一般の部」両方の部門に応募することはできません

専用応募フォーム

応募方法



X (旧Twitter) / Instagram

STEP 1



STEP 2



STEP 3



賞・副賞

- 【都知事賞】4作品/賞状・5万円のギフトカード
 - 【優秀賞】8作品/賞状・3万円のギフトカード
 - 【入選】12作品/1万円のギフトカード
- ※2つのテーマ、2つの募集部門ごとに知事賞1作品、優秀賞2作品、入選作品3作品を選定します。

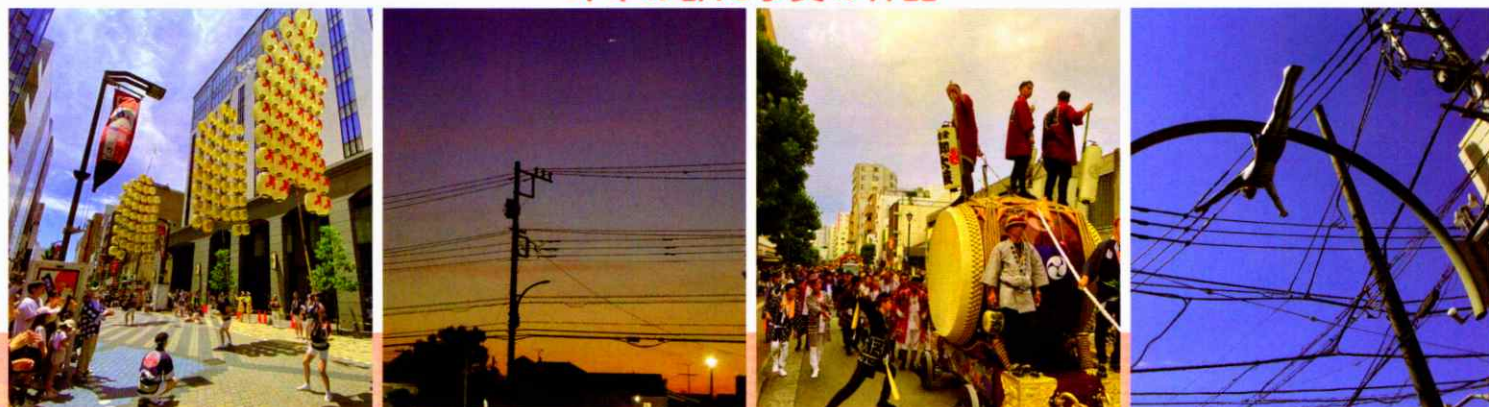
表彰

令和7年11月10日(月)
午後12時に東京都庁にて第5回「無電柱化の日」フォトコンテストの入賞作品を発表します。
入賞者の方のご出席の上、表彰式を行う予定のため、入賞者には事前にご連絡いたします。
なお、本イベントは東京都公式動画チャンネル「東京動画」でライブ配信する予定です。

審査

写真家(日本写真協会会員)の**高村 達氏・小川 知子氏**と**主催者**により選定します。

昨年の都知事賞の作品



注意事項

- 著作権は撮影者本人に帰属しますが、応募いただいた作品は、東京の無電柱化のPRに活用するため、パンフレットや広報誌、展示等に無償で使用させていただくことをご了承の上、ご応募ください。使用の際には、作品の一部に軽微な加工を施す場合がありますので、ご了承ください。
- X(旧Twitter)、Instagramの利用規約を遵守してください。
- 応募の際にいただいた個人情報は、本イベントの遂行に必要な入賞者・入選者へのご連絡及び作品使用のご連絡にのみ使用します。
- 入賞及び入選作品は、賞の確定までに原画データの提出を依頼する場合があります。
- 「電柱がなければ“もっとよくなる”風景」の審査は、撮影地における無電柱化の必要性や優先順位に基づいて行われるものではありません。
- また、撮影地の無電柱化を行うか否かの判断に影響するものではありません。
- 審査に関するお問合せには回答いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 記載事項に不足がある場合や、確認のための連絡が取れない等の場合は、審査対象外となることがありますのでご注意ください。
- ハッシュタグのない投稿及び記載事項に不足がある投稿は、審査対象外となることがありますのでご注意ください。
- アカウントが非公開の場合は応募対象外となります。公開アカウントに設定してからご応募ください。
- 平成19年(2007年)4月2日以降生まれの方は「高校生以下の部」に応募してください。
- 写真における被写体(人物、建築物、商品等)については、肖像権、著作権、商標権等、権利の侵害がないよう、応募者の責任において権利者にご確認ください。

東京の無電柱化
についてはこちら



お問合せ先

第5回「無電柱化の日」フォトコンテスト事務局
(株式会社ツクルス内)

TEL
MAIL

03-6909-3864 (平日10時～17時/土日祝除く)
mudenchuka2025@itto.co

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷物の紙へ
リサイクルできます。

第48回

未来の科学の 夢 絵画展

募集要項

あなたが思い描く「未来の科学の夢」を
自由に表現してみよう!!



応募部門・応募資格

小学校・中学校の部

全国の小学生・中学生（15歳以下）

幼稚園・保育園の部

全国の幼稚園児、保育園児
（学年満年齢4歳以上）



外国人学校の部

日本全国の外国人学校に在籍する
生徒（1～9年・15歳以下）



第47回 発明協会会長賞 幼稚園・保育園の部

「あめのひのおんがく」

神戸大学附属幼稚園（兵庫）5歳 **樋口 瑠璃さん**

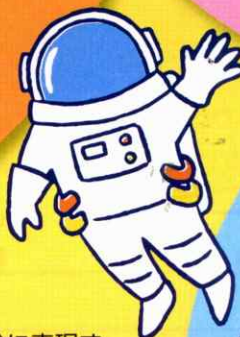
あめのひは、このかさをさそう！あめがあたれば、すてきな
おんがくがきこえてくるよ。おともだちも、わたしもいいえがお。
あめのひも、おそとたのしいよ。



第47回 文部科学大臣賞 小学校・中学校の部

「くまよけリュックサック」

にかほ市立平沢小学校（秋田）2年 **児玉 佳子さん**
このリュックサックは、くまが近づいた時にまくをはって助
けてくれます。くまの苦手なおいも出すので、くまがけが
をすることもありません。



第47回 発明協会会長賞 外国人学校の部

「海の掃除機ロボット」

東京韓国学校（東京）2年 **張 はるさん**

海の底の汚いゴミを掃除する。大きなゴミを食べる。汚れた
空気をきれいにするロボットです。

先生、保護者の方へ

本絵画展は、未来への夢を自由な発想によって絵に表現す
ることで、科学への関心を高めてもらうことを目的として
開催するものです。参加へのご協力をお願いいたします。

主催 公益社団法人 **発明協会**

後援（予定）

文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、日本弁理士会、
NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、
公益社団法人日本美術教育連合、公益財団法人美育文化協会

未来の科学の 夢 絵画展

1 画材・作品の大きさ

絵の具、クレヨン、サインペンなど自由です。

B3判 (36.4cm×51.5cm) または**四つ切** (38cm×54cm程度) の画用紙を使用してください。

手描き作品に限ります。

厚さ3mmを超えるものや用紙サイズの異なるものは選外となります。

※デジタルツールを使って描いた作品は対象外となります。

2 応募作品について

- ①応募者ご自身のアイデアと表現力で「未来の科学の夢」や「未来の世界」を描いてください。
- ②タイトル・作品説明は、選考の重要なポイントとなりますので、**必ずご記入ください。**
- ③未発表で必ず自作・本人の作品(1人1点)に限ります(共同制作は不可)。
- ④他人の作品をまねたものや類似のものは対象外です。
- ⑤著作権の存続しているイラスト、キャラクター等は使用しないでください。
- ⑥図鑑など参考にした場合は、申込書の参考資料欄に本の名前を記入してください。
- ⑦入選作品並びに受賞者の氏名・学校名は、本展普及等の目的で、主催者及び後援団体等の印刷物・ホームページ、各地の移動展示のほか、当協会の創造性開発育成事業全般で活用させていただく場合があります。

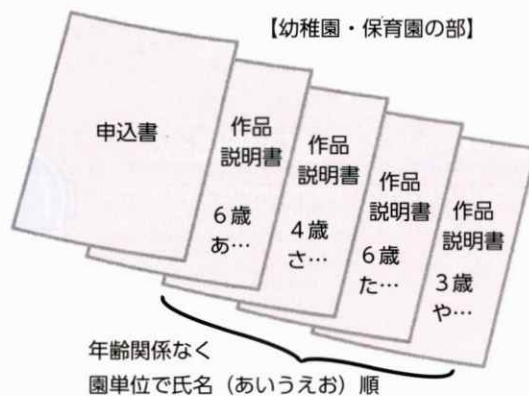
応募作品は
返却いたしません
ので、あらかじめ
ご了承ください。

3 応募方法

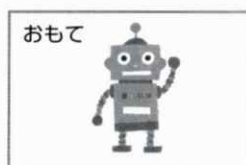
- ①応募要項の記載事項をご承諾の上、ご応募ください。
- ②作品が損傷することがありますので、**丸めないで**送ってください。
- ③所定の申込書・作品説明書に必要事項を全て記入し、作品と一緒に送ってください。
1つの団体で複数応募の場合は、学年順・氏名(あいうえお)順に整理してください。
幼稚園・保育園の部は、園単位で氏名(あいうえお)順に整理してください。



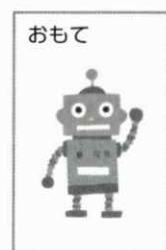
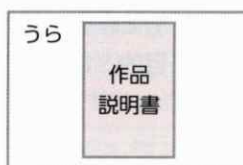
「申込書」「作品説明書」
ダウンロードできます



- ④作品の裏面に、絵の向きに合わせて「作品説明書(コピー)」をしっかりと貼り付けてください。



画用紙の向き: よこ



画用紙の向き: たて

4

審査

主催者及び学識経験者等から構成された審査委員会が審査にあたります。

審査結果の理由等についての問い合わせにつきましては、お答えいたしません。

5

表彰（予定）

小学校・中学校の部

★特別賞／11点

文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、特許庁長官賞、国立科学博物館長賞、
発明協会会長賞（小学生1点、中学生1点）、日本弁理士会会長賞、
NHK会長賞、朝日新聞社賞、朝日小学生新聞賞、朝日中高生新聞賞

★優秀賞／約50点 ★奨励賞／約70点

幼稚園・保育園の部

★特別賞／1点 発明協会会長賞 ★優秀賞／5点 ★奨励賞／約40点

外国人学校の部

★特別賞／1点 発明協会会長賞 ★優秀賞／約5点 ★奨励賞／約10点

6

賞状・賞品・奨励金について

- ① 賞状・賞品：各部門の受賞者に贈られます。
- ② 参加賞：応募者全員に贈られます。
- ③ 奨励金：幼稚園・保育園の部の特別賞及び優秀賞の受賞者が在籍する園に贈られます。

7

発表

令和8年2月に受賞者の申込団体に通知します。また、朝日新聞・朝日小学生新聞・朝日中高生新聞紙上や発明協会ホームページ上などで発表する予定です。

過去の受賞作品
はこちらからご
覧いただけます



8

展覧会・表彰式

令和8年3月、東京都内にて開催の予定です。また、表彰式は展覧会会期中に特別賞受賞者（幼稚園・保育園の部については特別賞・優秀賞受賞者）をご招待して開催する予定です。

個人情報の取り扱い

本展覧会の応募資料に記載された応募者の氏名等の情報及び応募された作品の概要に関する情報については、受賞作品の発表等に際し、入選作品一覧への掲載、発明協会が発行する機関誌・ホームページへの掲載及び関係機関・新聞・雑誌・テレビ等を通じて公表される場合があります。

公益社団法人発明協会は、個人情報の重要性を十分に認識し適切に保護・管理するため、個人情報に関する基本方針を定め、個人情報の保護に努めております。個人情報の取り扱いに関する基本方針についてはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

お問い合わせ先

公益社団法人

発明協会

青少年創造性グループ

電話：03-3502-5434 FAX：03-3502-3485 e-mail：souzou@jiii.or.jp

締切日・応募先一覧

(応募時の送料はご負担願います。)

◆小学校・中学校の部 (幼稚園・保育園の部と外国人学校の部はページ下方にあります)

※締切日欄のアミカケは地域で展覧会を実施

地域	締切日	応募先	TEL	〒	所在地
1 北海道	下記以外の市町村	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	東京都港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
	旭川市	旭川市科学館サイバル	0166-31-3186	078-8391	旭川市宮前 1 条 3-3-32
2 青森	9月10日(水)	(一社)青森県発明協会	017-762-7351	030-8570	青森市長島一丁目 1 番 1 号 県庁北棟 1 階
3 岩手	12月8日(月)	(一社)岩手県発明協会	019-634-0684	020-0857	盛岡市北飯岡 2 丁目 4 番 25 号 (地独)岩手県工業技術センター 2 階
4 宮城	9月5日(金)	(一社)宮城県発明協会	022-779-6255	981-3206	仙台市泉区明通 2-2 宮城県産業技術総合センター 2 階
5 秋田	11月10日(月)	秋田県発明協会	018-860-2247	010-8572	秋田市山王 3-1-1 秋田県庁 第 2 庁舎 3 階 産業労働部 地域産業振興課内
6 山形	10月27日(月)	(一社)山形県発明協会	023-644-3316	990-2473	山形市松栄二丁目 2 番 1 号 山形県高度技術研究開発センター内
7 福島	11月27日(木)	(一社)福島県発明協会	024-959-3351	963-0215	郡山市待池台 1-12 福島県ハイテクプラザ 2 階
8 茨城	11月25日(火)	茨城県発明協会	029-293-7213	311-3195	東茨城郡茨城町長岡 3781-1 茨城県産業技術イノベーションセンター内
9 栃木	10月24日(金)	(一社)栃木県発明協会	028-670-1820	321-3226	宇都宮市ゆいの杜 1-5-40 とちぎ産業創造プラザ内
10 群馬	下記以外の市町村	(一社)群馬県発明協会	027-287-4500	379-2147	前橋市亀里町 884-1 群馬県産業技術センター 1 階
	前橋市	前橋発明協会	027-234-5111	371-0017	前橋市日吉町 1-8-1 前橋商工会議所内
	桐生市	桐生発明協会	0277-45-1201	376-0023	桐生市錦町 3-1-25 桐生商工会議所 工業課内
11 埼玉	11月4日(火)	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	東京都港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
12 千葉	11月4日(火)	(一社)千葉県発明協会	043-290-7071	263-0016	千葉市稲毛区天台 6-13-1 千葉県産業支援技術研究所天台庁舎内
13 東京	11月4日(火)	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
14 神奈川	11月4日(火)	(一社)神奈川県発明協会	045-633-5055	231-0015	横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 4 階
15 長野	11月4日(火)	(一社)長野県発明協会	026-228-5559	380-0928	長野市若里 1-18-1 長野県工業技術総合センター内 3 階
16 山梨	11月4日(火)	(一社)山梨県発明協会	055-243-6145	400-0055	甲府市大津町 2192-8 アイメッセ 3 階
17 静岡	11月4日(火)	(一社)静岡県発明協会	054-254-7575	420-0853	静岡市葵区追分町 44-1 静岡県産業経済会館 1 階
18 新潟	11月4日(火)	(一社)新潟県発明協会	025-242-1175	950-0915	新潟市中央区錦西 1-11-1 新潟県工業技術総合研究所内
19 愛知	11月4日(火)	(一社)愛知県発明協会	052-223-5726	460-8422	名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所 5 階
20 岐阜	9月12日(金)	(一社)岐阜県発明協会	058-370-8851	509-0109	各務原市テクノプラザ 1 丁目 1 番 テクノプラザ内
21 三重	9月17日(水)	(一社)三重県発明協会	059-222-5505	514-0004	津市栄町一丁目 891 三重県合同ビル 5 階 (公財)三重県産業支援センター内
22 富山	小学生	(一社)富山県発明協会	0766-27-1150	933-0981	高岡市二上町 150 富山県産業技術研究開発センター内
	中学生	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	東京都港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
23 石川	9月19日(金)	(一社)石川県発明協会	076-267-5996	920-8203	金沢市鞍月 2-20 石川県地場産業振興センター (新館 1 階)
24 福井	9月12日(金)	(一社)福井県発明協会	0776-55-1195	910-0102	福井市川合鷺塚町 61 字北稲田 10 福井県工業技術センター内
25 滋賀	9月8日(月)	(一社)滋賀県発明協会	077-558-4040	520-3004	栗東市上砥山 232 滋賀県工業技術総合センター別館内
26 京都	11月28日(金)	(一社)京都発明協会	075-315-8686	600-8813	京都市下京区中堂寺南町 134 京都リサーチパーク内 京都府産業支援センター 2 階
27 大阪	12月1日(月)	(一社)大阪発明協会	06-4792-7601	530-0043	大阪市北区天満 2 丁目 7 番 22 号 コム関西ビル 3 階
28 兵庫	11月28日(金)	(一社)兵庫県発明協会	078-731-5847	654-0037	神戸市須磨区行平町 3-1-12 兵庫県立工業技術センター内 技術交流館 1 階
29 奈良	9月9日(火)	(一社)奈良県発明協会	0742-34-6115	630-8031	奈良市柏木町 129-1 奈良県産業振興総合センター 2 階
30 和歌山	11月17日(月)	(一社)和歌山県発明協会	073-432-0087	640-8033	和歌山市本町 2 丁目 1 番地 フォルテワジマ 6 階
31 鳥取	9月5日(金)	(一社)鳥取県発明協会	0857-52-6728	689-1112	鳥取市若葉台南 7-5-1 鳥取県産業振興機構内
32 島根	11月4日(火)	(一社)島根県発明協会	0852-60-5146	690-0816	松江市北陵町 1 テクノアークしまね 1 階
33 岡山	9月30日(火)	(一社)岡山県発明協会	086-286-9656	701-1221	岡山市北区芳賀 5301 テクノサポート岡山 3 階
34 広島	9月5日(金)	(一社)広島県発明協会	082-241-3940	730-0052	広島市中区千田町 3-13-11 広島発明会館
35 山口	9月30日(火)	(一社)山口県発明協会	083-902-9339	754-0041	山口市小郡令和 1-1-1 山口市産業交流拠点施設 4 階
36 徳島	11月4日(火)	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	東京都港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
37 香川	11月28日(金)	(一社)香川県発明協会	087-867-9332	761-0301	高松市林町 2217-15 香川産業頭脳化センタービル 1 階 (公財)かがわ産業支援財団内
38 愛媛	11月4日(火)	(一社)愛媛県発明協会	089-960-1103	791-1101	松山市久米窪田町 337-1 テクノプラザ愛媛内
39 高知	12月1日(月)	(一社)高知県発明協会	088-845-7664	781-5101	高知市布師田 3992-3 高知県工業技術センター内
40 福岡	11月27日(木)	(一社)福岡県発明協会	092-409-5480	812-0046	福岡市博多区吉塚本町 9-15 福岡県中小企業振興センタービル 6 階
41 佐賀	9月12日(金)	佐賀県発明協会	0952-30-8252	849-0932	佐賀市鍋島町大字八戸溝 114 佐賀県工業技術センター内
42 長崎	11月4日(火)	(一社)長崎県発明協会	0957-52-1144	856-0026	大村市池田 2-1303-8 長崎県工業技術センター内
43 熊本	11月4日(火)	熊本県発明協会	096-360-3291	862-0901	熊本市東区東町 3-11-38 熊本県産業技術センター電子機械分館 3 階
44 大分	11月28日(金)	(一社)大分県発明協会	097-596-7121	870-1117	大分市高江西 1-4361-10 大分県産業科学技術センター内
45 宮崎	11月4日(火)	(一社)宮崎県発明協会	0985-74-0900	880-0303	宮崎市佐土原町東上那珂 16500-2 宮崎県工業技術センター内
46 鹿児島	9月18日(木)	(一社)鹿児島県発明協会	099-295-0171	892-0816	鹿児島県鹿児島市山下町 9-15 林業会館 4 階
47 沖縄	10月9日(木)	(一社)沖縄県発明協会	098-859-2810	901-0152	那覇市字小嶺 1831 番地 1 沖縄県産業支援センター 607 号室 (沖縄県工業連合会内)

◆幼稚園・保育園の部

1 下記以外の都道府県	11月4日(火)	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	東京都港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
2 鳥取	9月5日(金)	(一社)鳥取県発明協会	0857-52-6728	689-1112	鳥取市若葉台南 7-5-1 鳥取県産業振興機構内
3 佐賀	9月12日(金)	佐賀県発明協会	0952-30-8252	849-0932	佐賀市鍋島町大字八戸溝 114 佐賀県工業技術センター内
4 沖縄	10月9日(木)	(一社)沖縄県発明協会	098-859-2810	901-0152	那覇市字小嶺 1831 番地 1 沖縄県産業支援センター 607 号室 (沖縄県工業連合会内)

◆外国人学校の部

全都道府県	11月4日(火)	(公社)発明協会	03-3502-5434	105-0001	東京都港区虎ノ門 2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス 8 階
-------	----------	----------	--------------	----------	----------------------------------

令和7年 月 日

第48回未来の科学の夢絵画展 申込書

下記の通り「未来の科学の夢絵画展」に応募します。

(ふりがな)

1. 団体名 _____

(学校・園・発明クラブ・画塾等)

2. 住所

〒 —

都道
府県

(ふりがな)

3. 担当名 _____ (役職： _____)

4. 電話番号 _____ — —

5. FAX _____ — —

6. 応募総数

点

<作品説明書と作品（裏面に作品説明書のコピーを貼付）を同封してください>

※入賞のご連絡や参加賞のお届けは、学校・園・発明クラブ・画塾等の団体宛となりますので、団体の連絡先・担当者名を記入してください。

《ご注意》

1. 全ての項目にご記入をお願いいたします。
2. 申込書は、各団体（学校・園・発明クラブ・画塾等）につき1枚ご記入の上、作品説明書・作品を添えてご提出ください。
複数作品を応募される場合、作品説明書・作品は、学年順・氏名順（あいうえお順）に整理してください。
幼稚園・保育園の部は、園単位で氏名順（あいうえお順）に整理してください。
3. 作品が損傷することがありますので、丸めずにお送りください。
4. 幼稚園・保育園の部には、特別賞及び優秀賞の受賞者が在籍する園に対し奨励金を贈呈いたします。

※以下の場合は選外となりますのでご注意ください

- ・タイトル・説明が無い作品または説明になっていない作品
- ・科学と関係のない作品
- ・アニメのキャラクターや商品名、企業名が入っている作品
- ・既に知られている作品または類似している作品
- ・未完成と思われる作品
- ・大人の関与があると思われる作品
- ・B3版・四つ切の用紙サイズ以外の大きさや厚さ3ミリを超える作品
- ・デジタルツールで描いた作品
- ・共同で描いた作品または1人複数点の作品

令和7年 月 日

第48回未来の科学の夢絵画展 作品説明書

整理No.		協会名	都道府県	協会No. - 受付No.	-	学校No.	
地域展 賞名							

※太枠の中は記入しないでください

フリガナ 画 題											画用紙の向き ☐ タテ ☐ ヨコ
作品の説明（70 字以内）										10	
										40	
										70	
参考資料欄（本や図鑑、ホームページなど）											

学校名・ 園名	※1 学年 (該当に○)	小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1 / 7	2 / 8	3 / 9
フリガナ	※2 所属する発明 クラブ、画塾									
氏 名										
※3 英字	※4 年齢 (来年の令和8年4月1日時点)	才								

- 応募の際は、1 作品につき「作品説明書」を2 枚プリントアウトして、1 枚は作品の裏面に絵の向きに合わせて貼付、もう1 枚は発明協会提出用としてください。(コピー可)
- 作品の説明欄・フリガナなど、もれなく記入をお願いします。なお、太枠内は記入しないでください。
- ※1 は、小学校・中学校の部、外国人学校の部の申込者のみ、数字に○をしてください。
- ※2 は、少年少女発明クラブ・画塾などに加入している方は、クラブ・画塾名を記入してください。
- ※3 は、外国人学校の部の申込者のみご記入ください。
- ※4 は、今年度の誕生日を迎えた後(来年の令和8年4月1日時点)の年齢を記入してください。
- 応募作品は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

この用紙を2枚用意し1枚を画用紙の裏面に絵の向きに合わせて貼ってください

「第 68 回東京都児童生徒発明くふう展」開催要項

1. 趣 旨: 次代を担う児童生徒の創造する楽しみや知識を養い、発明くふうに対する関心を高めることを目的として開催いたします。
2. 主 催: 東京都(実施: 公益社団法人発明協会)
3. 参加資格: 都内の小・中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校(小学部・中学部)、各種学校及びフリースクール・サポート校等の民間教育施設の児童・生徒で開催年の 4 月 2 日時点において満 15 歳以下の者(都内居住でも都外の学校へ通学している方は対象外)

4. 募集作品: 児童・生徒自身の創意くふうによる自由作品

①サイズ: 縦・横・高さ各 1m 以内、重量 20 kg 以内(サイズ超過は選外となります)

②数 量: 学校・発明クラブ単位でお申し込みください。1 校・1 発明クラブにつき最大 30 作品。生徒 1 名につき 1 作品まで。(共同制作は 3 名まで)

※次の作品は応募できません。

- ・発明くふう作品と認められないもの(単なる模型・工作品・美術品・手芸品・レポートなど)
- ・展示にふさわしくないもの(危険物、生物、公序良俗に反するもの)
- ・他社のアイデア・作品の作り直し(過去の展覧会に出品されたものを作り直したもの。市販キットを組み立てたもの、HP・本・テレビ番組等で紹介されたアイデアをそのまま使ったものなど)
- ・著作権をはじめとする他者の権利を侵害するもの(商品名や著名キャラクターの使用など)

5. 応募の流れ:

①応募者は、以下の URL にアクセスして応募者情報を登録し、個別審査票(PDF)を受け取ってください。

登録内容	URL	2 次元バーコード
・応募者氏名 ・作品説明文 等	https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo	
※オンライン登録が難しい場合には、 souzou@jiii.or.jp にご連絡ください。郵送による応募方法をご案内致します。		

②個別審査票の内容を確認した上で、作品の画像とともにアップロードしてください。

送信内容	URL	2 次元バーコード
・個別審査票(必須) ・作品画像(必須) ・作品動画(任意)	https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo/upload	

③個別審査票を印刷し、作品画像を貼り付けて学校に提出してください。

④学校・発明クラブは応募作品を取りまとめ、以下の URL より作品情報を送信してください(応募完了)。

送信内容	URL	2 次元バーコード
・応募者全員の氏名 ・作品名称 等	https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo	

⑤書類審査の実施後、結果についてご連絡します。

書類審査を通過された場合には、「作品」と「紹介動画」の 2 点を提出してください。

※「紹介動画」は⑤の書類審査通過後は必須となりますが、あらかじめ②の作品画像提出時に提出いただくことを推奨いたします。

【紹介動画について】

●作品紹介動画については、以下の要領で作成ください。

- ①2分以内
- ②mp4、mov、avi、wmv形式のいずれかで、ファイルサイズ 300MB 以内
- ③作品の趣旨と動作が分かる内容
- ④製作者本人による説明(必ずしもご本人が映像に映りこむ必要はなく音声のみでも構いません)

●完成した動画は以下の URL からアップロードしてください。

<https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo/upload>



※特別賞を受賞した「紹介動画」は、HP等で公開いたしますので、あらかじめご了承ください。

(動画制作にあたっては、制作者本人の映り込みの可否について、十分配慮の上、撮影ください)

6. 応募締切:2025 年 9 月 30 日(火) 必着

7. 審査:書類審査通過作品を主催者が委託する審査員(学識経験者、関係官庁職員等)により審査します。

8. 表彰

【個人表彰】

出品児童生徒に対する表彰

① 特別賞:12 点

東京都知事賞、東京都教育委員会賞、みなと科学館長賞、発明協会会長奨励賞、東京商工会議所会頭賞、毎日新聞社賞、毎日小学生新聞賞、日刊工業新聞社賞、日本弁理士会会長賞、東京文具工業連盟会長賞(以上、各 1 点)、発明協会奨励賞(2 点)

②優秀賞:22 点

③入 選:56 点

【学校表彰】

出品校に対する表彰:5 校

9. 表彰式(予定)

①日時:12月6日(土) 午前

②会場:港区立みなと科学館 ※特別賞、学校賞のみ

10. 展 覧 会:全受賞作品を以下のとおり展示します(予定)。また、特別賞受賞作品について、ホームページ上に
てご本人が制作した紹介動画を公開します。

①会期:12月3日(水)~6日(土)(9時~20時まで。なお最終日は15時まで)

②会場:港区立みなと科学館

③作品の搬出:優秀賞及び入選作品は展覧会最終日に引き取りをお願いします。

※特別賞受賞作品は「全日本学生児童発明くふう展」に推薦しますので、発明協会にて保管します。

※作品の取り扱いには最善の注意を払いますが、万一不可抗力により紛失又は破損した場合はご容赦ください。

お問い合わせ先

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ 小林・降旗

TEL:03-3502-5434 FAX:03-3502-3485 mail: souzou@jiii.or.jp

東京都児童生徒発明くふう展
応募方法のご案内

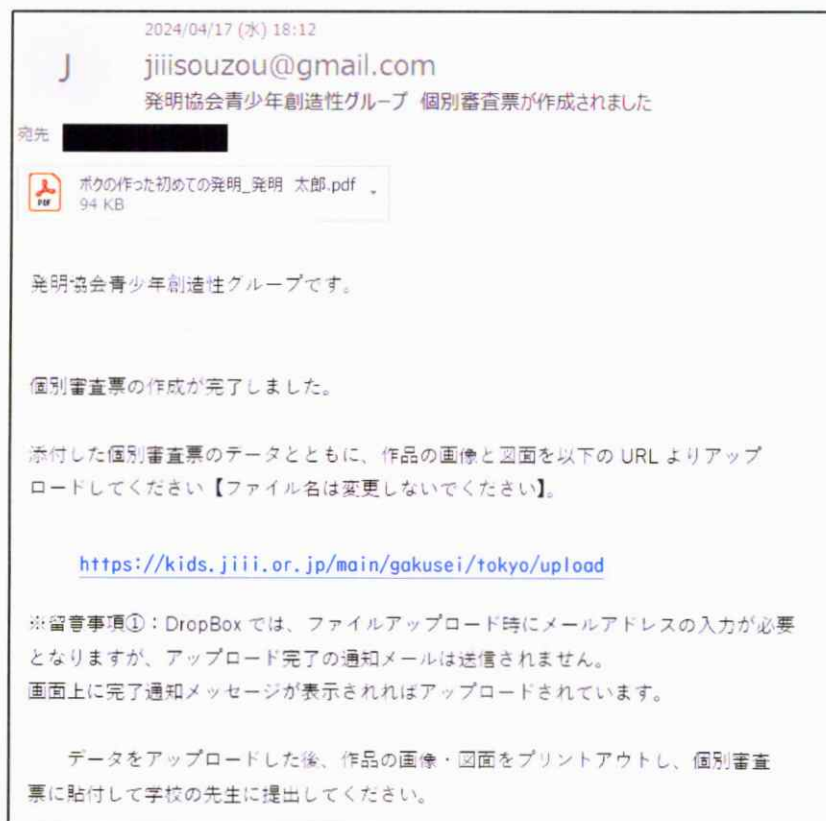
- ① 以下の URL にアクセスして、必要事項を入力し、最後に「送信」ボタンをクリックしてください。

<https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo>



- ② 1～2 分ほどで、入力事項を反映した提出資料の PDF データがメール (jiiisouzou@gmail.com) で届きます。

※迷惑メール設定等で届かなかった場合には、souzou@jiii.or.jp にご連絡ください。改めて再送致します。



裏面に続きます

- ③ 個別審査票の PDF データとともに、作品の画像と図面のデータを以下の URL よりアップロードしてください。

<https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo/upload>



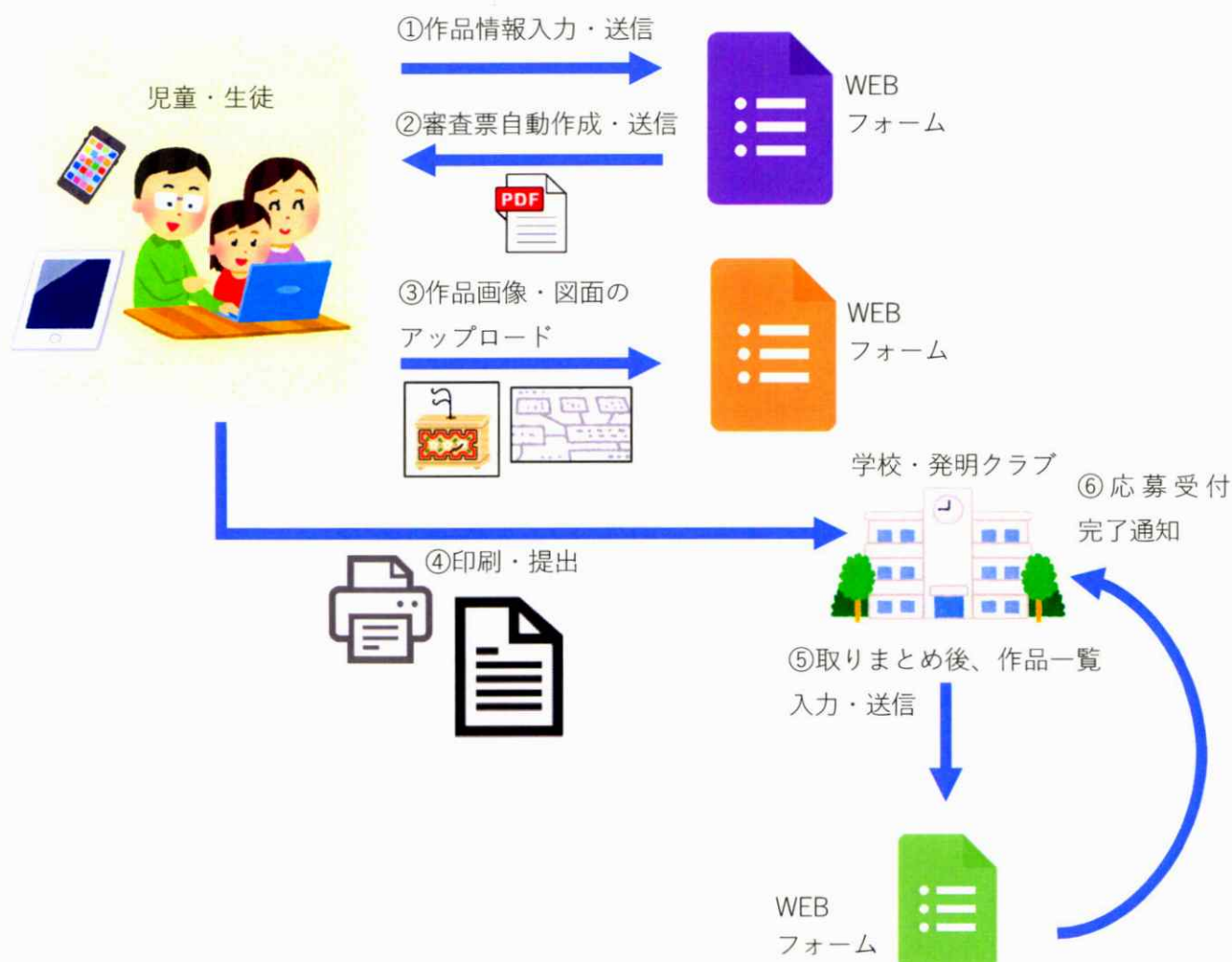
- ④ 個別審査票を印刷し、作品の画像・図面を貼り付けて学校・発明クラブの先生に提出してください。

- ⑤ 学校・発明クラブが応募情報を取りまとめて、以下の URL より申し込むと、応募完了です。

<https://kids.jiii.or.jp/main/gakusei/tokyo>



< 応募の流れ (イメージ) >



お問い合わせ先

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ 小林・降旗

TEL:03-3502-5434

FAX:03-3502-3485

mail: souzou@jiii.or.jp

令和
7
年度

わたしたちの暮らしとエネルギー

夏休みの宿題にも使える！

かべ新聞 コンテスト

大募集

地球温暖化
について
調べよう！

再生可能
エネルギー
って、なに？

電気は
どうやって
作るの？

「暮らしとエネルギー問題とのつながりを調べて新聞にしよう！」

データ版での応募もOK！

応募締切

令和
7年
11/7 (金)

※当日消印有効

対象

全国の小学校
4・5・6年生

最優秀賞(経済産業大臣賞)の2作品は

朝日小学生新聞

に紹介されます！



「わたしたちのくらしとエネルギー」かべ新聞の作り方

1 書きたいテーマを決めよう!

新聞全体をとおして
何を伝えたいのか
考えよう。

ココが重要!

自分自身のくらしや
きょうみ興味とのつながりがある
テーマか考えよう

探究したくなるテーマに!

伝えたいことを表す
新聞名を考えよう。

センスが出る!

記事を書くために、
しゅざい取材や調査の
ちようさ方法を考えよう。

経験を結集!

2 取材しよう!

しゅざい
取材って
おもしろい!



どこで、どんな人に、どんなことを聞くか計画を立てよう。
本、パンフレットなどの資料やインターネットも利用してみよう。
実験で確かめてみよう。
エネルギーにかかわる施設に行ってみよう。

3 記事を書こう!

記事

- 見出し 伝えたいことを短い言葉で表したもの (タイトル)
- あらまし 本文を要約して短くまとめたもの (リード)
- 本文 調べたこと、考えたことなど詳しい内容の説明

- 本やインターネットから書き写した (またはコピーした) 文章、図や表、写真などを使うときは、どこからもってきたのか、必ず「出典」を書こう。
- 自分で撮った写真には必ず「写真説明」を入れよう。 (キャプション)

レイアウト

- どこにどの記事を配置しようか、文字の色や大きさはどうしようか、など工夫をして伝えたいことを整理しよう。
- イラスト、図や表、写真などがあると注意を引く記事になるよ。



読む人に
興味をもってもらえる
書き方をしなくっちゃ!



しゅってん
出典
忘れないでね!

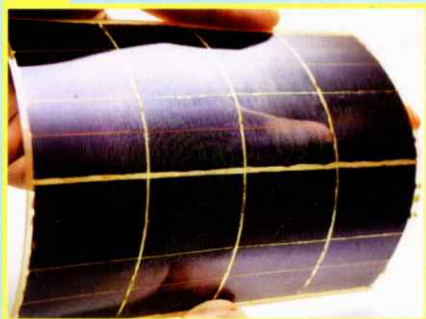
4 校正をしよう!

文字がまちがっていたり、表現がまちがっていたりしないか見直しをしよう。
資料から引用した文章、図や表、写真などに「出典」が書かれているか、必ず見直しをしよう。

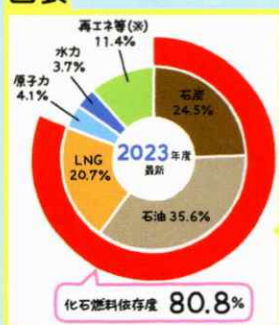
A3の紙を2まいつなげて 新聞のサイズにする。

※用紙の向きや縦書き・横書きは自由です。

写真



図表



しゅってん
出典

記事に合わせて
図や表、写真を
用意しよう！

a. 見出し

b. あらまし

c. 本文

みりよくてき
魅力的な
見出しをつけて、
みんなの関心を
引きたいな。

「まとめ」は
必ず書いてね！

まとめ

ここが大事！ **まとめ** 新聞を作ってみて（調べてみて、取材して^{しゅざい}みて）

伝えたかったこと

気づいたこと

これからできること

は何か？グループでディスカッションして考えをまとめて書いてね。

データ版作成の手引きは
ホームページを見てね！



個人情報について

1. 個人情報の収集目的について

当事務局に提供された個人情報は、エネルギー教育推進事業に関連する各種ご案内や申込者名簿等の作成、アンケート調査等の各種教育事業、ならびに今後の事業企画のためのみに利用します。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

応募作品が入賞された場合、必要な書類等の発送などを外部委託することがあります。その場合の委託先は個人情報に関し十分な保護水準を満たしている者を選定します。また委託先には上記事業目的に必要な情報だけを開示し、それ意外に使用させることはありません。

3. 個人情報の開示について

提供された個人情報に関して、提供者本人からの開示請求があった場合、また、開示の結果、訂正、削除等の請求があった場合は、速やかに対応します。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報をご提供されない場合は事業の実施、参加等に支障が生じる可能性がありますので、ご了承ください。

かべ新聞コンテストの概要

内容	「わたしたちの暮らしとエネルギー」
対象	小学校4～6年生
締切	令和7年11月7日(金)当日消印有効

応募のきまり

- 学校又は個人応募(1人でも2名以上のグループでも可)。
- 引用した文章、図や表、写真などには出典を必ず明記。
- 「まとめ」の部分を必ず明記。
- 紙面に必ず学校名及び学年を記載。

応募作品

紙で作成する場合

A2用紙またはA3用紙2枚をつなぎあわせてA2サイズにしてください。
A2サイズを超える台紙は貼り付けしないでください。
※他のコンクール等に入賞した作品は応募できません。

デジタルで作成する場合

JPEG、PNGまたはPDF形式で、解像度150dpi以上にしてください。
※解像度がわからない場合は、事務局へお送りください。事務局内で確認し、ご連絡します。
jimukyoku@energy-kyoiku.meti.go.jp

必ず
守ってね!



概要 小学生のエネルギー問題に対する関心と当事者意識を喚起し、学校や家庭・地域における実践行動を促すことを目的とします。

募集内容 「わたしたちの暮らしとエネルギー」をテーマにしたかべ新聞の制作。エネルギーについて調べたり取材したことを、かべ新聞の形式でまとめたものとする。

紙で作成する場合

- 応募票を作品の裏側に貼ってください。
- 連絡票を作品に同封して送ってください。
- 応募票・連絡票はホームページからダウンロードが可能です。
- 応募作品は3月上旬に返却します。

デジタルで作成する場合

- Eメール(jimukyoku@energy-kyoiku.meti.go.jp)にてご応募ください。
応募メールの件名は「令和7年度かべ新聞コンテスト応募」とし、作品・応募票・連絡票を添付して送ってください。
※1通で送付ができない場合、その旨を本文に記載し、件名に○/○通目とわかるようにして送ってください。
※データのサイズが大きすぎて添付できない場合は、事務局へメールで連絡ください。事務局より大容量ファイルサービス等のご案内します。
- データ作品のファイル名は応募票に記載した「学校名_新聞名」としてください。
※学校応募において同一の新聞名がある場合は、「学校名_新聞名①」「学校名_新聞名②」のようにファイル名をつけてください。

応募方法

ホームページは
こちらから
➔



スケジュール

令和8年1月中旬:最終審査

3月上旬:表彰式

最優秀賞・特別賞作品を作成した児童を表彰式にご招待します(1作品につき児童2名まで、引率大人1名)

審査

応募作品はエネルギー教育に知見のある大学、小学校教員・エネルギー問題の専門家等の有識者を中心に審査します。

審査ポイント

- 紙面の見やすさ、文字の大きさ、図やイラストの説明など表現の工夫
- 取り上げたテーマや本文の内容に対する主体的な探究意識
- エネルギーに関する記述(図表や本文)が現在の事実に基づいている
- エネルギーに関する未来に向けた視点や意見、自分自身の感想を記述している
- 適切な見出しの設定、記事の内容にあった引用、調査、取材、実践等

賞

最優秀賞 (経済産業大臣賞)	2作品程度
特別賞	6作品程度
優秀賞	12作品程度
入選	20作品程度

※ 最優秀賞受賞の2作品は
『朝日小学生新聞』で紹介されます。

後援申請予定

文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、全国連合小学校長会、全国小学校国語教育研究会、全国小学校理科研究協議会、全国小学校社会科研究協議会、日本エネルギー環境教育学会、一般社団法人日本新聞協会、国民生活産業・消費者団体連合会

応募・お問い合わせ先

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-17-2 アーク銀座ビルディング4階
株式会社ヴァリアス・ディメンションズ内 エネルギー教育推進事業事務局
E-mail: jimukyoku@energy-kyoiku.meti.go.jp

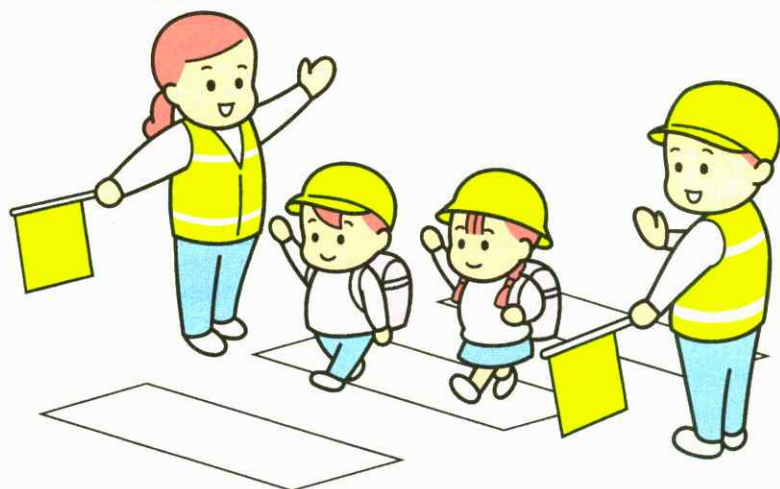
くわしい情報はこちら

URL: <https://energy-kyoiku.meti.go.jp>

令和8年使用

交通安全

年間スローガン募集



交通ルールを守ろう！

社会の交通安全意識を高め、
交通事故を減らす目的で、
スローガンを募集します。

最優秀作は令和8年使用
「交通安全ポスターデザイン募集」
(11月末募集開始予定)で
使用するスローガンになります。

締切 令和7年 9月22日(月) 消印有効

以下の重点テーマに沿ったスローガンを作成してください(句読点はつけないこと)

一般部門 A 自動車の運転者(同乗者を含む)に呼びかける部門 どなたでも応募可

A-1 交通ルールの遵守と交通マナーの向上

例)横断歩道等における歩行者保護、
運転中のスマートフォン等の使用禁止、
他の車への思いやりの気持ち、あおり運転の禁止など

A-2 飲酒運転の根絶

A-3 後部座席を含めた全ての座席におけるシートベルト とチャイルドシートの正しい装着

A-4 前照灯の早めの点灯

例)夕暮れ時における前照灯の早めの点灯により歩行者を
早く発見すること、自分の車の存在を周囲に知らせる
ことなど

A-5 高齢運転者の交通事故防止

こども部門 子どもたちに交通安全を呼びかける部門 中学生以下のみ応募可

重点テーマは特に定めない

一般部門 B 歩行者等(自転車等利用者を含む)に呼びかける部門 ※特定小型原動機付自転車利用者も含まれます どなたでも応募可

B-1 交通ルールの遵守と交通マナーの向上

例)横断歩道等における交通ルールの遵守など
歩行者は回り道でも横断歩道を横断すること、横断するときは、
手を上げるなどして運転者に対して横断する意図を明確に
伝えること、車の直前・直後や横断が禁止されている場所を
横断しないことなど

例)自転車は交差点に入る前に一時停止や安全確認をする

例)特定小型原動機付自転車は、16歳未満の運転は禁止。また、
信号や一時停止等の道路標識に従わなければならない

例)ながら運転、飲酒運転の禁止

B-2 夕暮れ時と夜間における交通事故防止

例)反射材用品の活用、ライトの早めの点灯

B-3 自転車の安全利用

例)自転車の運転者は被害者にも加害者にもなるという両面を
持っていること

例)全ての年齢層に対する乗車用ヘルメットの着用、車道は左側を
通行、歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行

B-4 特定小型原動機付自転車の安全利用

例)道路運送車両の保安基準への適合、車道通行の原則、乗車用
ヘルメットの着用

※自作、未発表作品に限ります。過去の入賞作や他で公表・使用されたスローガンと同一ないし酷似していると判断された場合は審査対象となりません。
※応募点数に制限は設けません。

過去の受賞作品及びQ&A(よくある質問)はホームページでご覧いただけます。

応募方法・賞・応募用紙は裏面をご覧ください！

毎日新聞社交通安全年間スローガン



■主催 一般財団法人全日本交通安全協会 毎日新聞社
■後援 内閣府 警察庁 法務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 NHK(予定含む)
■協賛 JA共済連

交通ルールを守って
つながる笑顔



令和8年使用

交通安全年間スローガン募集

標語

応募方法

応募用紙は下段のものを使用し、ハガキに貼付するなどして活用してください。

毎日新聞社のホームページ (<https://www.mainichi.co.jp/event/aw/anken/slogan/yoko.html>) からダウンロードできます。

※ハガキや同程度の大きさの用紙に直接記載する場合には、必要事項をもしなく記載してください。

個人で 応募する場合

1枚につき作品(スローガン)1点

▽応募部門(一般A、一般B、こども)▽重点テーマの番号(A-1、B-2など。こども部門は必要なし)

▽氏名▽職業(児童・生徒は学校名、学年)▽住所、電話番号を明記する

(注) 高校生以下は学校所在地と学校電話番号を併記すること。複数作品を応募する場合は、一つの封筒に入れるなどして一括送付可。

学校・企業・団体で 一括応募する場合

1枚につき作品(スローガン)1点

▽応募部門(一般A、一般B、こども)▽重点テーマの番号(A-2、B-3など。こども部門は必要なし)

▽氏名▽所属する学校名・学年または企業・団体名▽所属先の住所、電話番号を明記する。

(注) 代表者名(教諭等)の記載があれば、応募者個人の住所、電話番号の記載は不要。一括送付可。

送り先

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日企画サービス内「交通安全年間スローガン」係

審査員 学識経験者、主催・後援・協賛関係者

発表 令和7年11月下旬の毎日新聞紙上とホームページなど

賞 (予定)

●内閣総理大臣賞(最優秀作)(各部門1点)=賞状と賞金5万円

●内閣府特命担当大臣賞(優秀作)(各部門1点)=賞状と賞金2万円

●文部科学大臣賞(優秀作)(こども部門のみ1点)

=賞状と図書カード(本人1万円、在学校1万円)

●警察庁長官賞(優良作)(各部門1点)=賞状と賞金1万円

●全日本交通安全協会会長賞(佳作)(各部門若干点)=賞状と賞金5千円

※中学生以下の受賞者には、賞金に代わり図書カードを贈呈する。

最優秀作には本人に3万円、在学校に2万円▽優秀作には本人と在学校にそれぞれ1万円

▽優良作には本人と在学校にそれぞれ5千円▽佳作には本人に5千円の図書カードを贈呈

※入賞作品の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)など一切の権利は主催者に帰属するものとする。また、応募者は著作者人格権に基づく権利を行使しないものとする。

※応募作品は返却しない。

※句読点がある場合、主催者で削除する。

※作品の応募に関する個人情報は主催者及び事務局が管理し、選考や受賞者の発表、表彰、次回以降の募集に必要な場合にのみ使用する。

※審査結果について不服がある場合の異議申し立ては、発表日から2週間以内とする。

お問い合わせ 毎日企画サービス内「交通安全年間スローガン・ポスター」事務局
TEL: 03-6265-6815 (平日午前10時～午後5時)

交通安全年間スローガン応募用紙 個人からの応募

応募部門、重点テーマ(いずれかに☑をつけてください)

一般部門A ☐ A-1 ☐ A-2 ☐ A-3 ☐ A-4 ☐ A-5

一般部門B ☐ B-1 ☐ B-2 ☐ B-3 ☐ B-4

☐ こども部門 ※重点テーマはありません。

スローガン 1点書いてください(句読点はつけない)

※必ずご記入ください

応募者名	
職業 (学校名)	
学年	年
住所	〒 -
電話	()

※高校生以下は下記もご記入ください

学校所在地	〒 -
学校電話	()

交通安全年間スローガン応募用紙 学校・企業・団体からの応募

応募部門、重点テーマ(いずれかに☑をつけてください)

一般部門A ☐ A-1 ☐ A-2 ☐ A-3 ☐ A-4 ☐ A-5

一般部門B ☐ B-1 ☐ B-2 ☐ B-3 ☐ B-4

☐ こども部門 ※重点テーマはありません。

スローガン 1点書いてください(句読点はつけない)

※必ずご記入ください

応募者名	
所属 (学校名 企業・団体名)	
学年	年
同上所在地	〒 -
同上電話	()
応募担当者名 (所属・名前)	

キリトリ

作品
募集中

生命

いのち

第9回

を見つめる フォト&エッセー

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

両部門に
賞を新設

応募締め切り

2025年
10月3日(金)
必着

フォト部門

生命の尊さを感じさせる、
あるいは生命の輝く瞬間を
とらえた作品を募集します。

最高
賞金 10万円

審査員 (順不同、敬称略)



熊切大輔
日本写真家協会会長



岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwago



奈緒
俳優

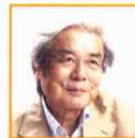
他

エッセー部門

医師や看護師との交流、ご
家族の介護や生命の誕生に
まつわる話などを募集します。

最高
賞金 30万円

審査員 (順不同、敬称略)



養老孟司
東京大学名誉教授
/解剖学者



玄侑宗久
作家 / 福聚寺住職



水野真紀
俳優

他

公式ホームページ <https://jigyou.yomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



フォト部門



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2022年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 東京海上日動賞(1点).....賞金 10万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....賞金 5万円・賞状他



小中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 5千円分・賞状他

エッセー部門



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」などでも可)。
また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。
小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

- 【一般の部・中高生の部】.....2,000字(原稿用紙1~5枚)以内
- 【小学生高学年の部(4~6年生)】.....1,200字(原稿用紙1~3枚)以内
- 【小学生低学年の部(1~3年生)】.....800字(原稿用紙1~2枚)以内
- 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 東京海上日動あんしん生命賞(1点).....賞金 30万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....賞金 10万円・賞状他



中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 5千円分・賞状他



小学生高学年の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 1万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 5千円分・賞状他



小学生低学年の部

- 文部科学大臣賞(1点).....QUOカード 5千円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点).....QUOカード 3千円分・賞状他

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。
盗作・二重応募・類似・事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。
応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2026年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトにて、作品と実名・年齢・顔写真・学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2026年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

応募方法

- ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ
(<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)・ボールペン・万年筆のいずれかを
使い、濃く書いてください。
- 郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、
送付してください。



公式ホームページQRコード

お問い合わせ

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つけるフォト&エッセー」事務局
TEL: 03-3216-8598 (平日10:00~17:00)

作品送付先: 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つけるフォト&エッセー」係

応募用紙

応募部門

フォト部門
一般の部

フォト部門
小中高生の部

エッセー部門
一般の部

エッセー部門
中高生の部

エッセー部門
小学生高学年の部
(4~6年生)

エッセー部門
小学生低学年の部
(1~3年生)

題名

氏名

住所

年齢

Mail

Tel

職業(学校名)

フォト部門のみ 撮影年月日
202 年 月 日

撮影場所

撮影機材

- ☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません
- ☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません
- ☐ 入賞作品は、主催者・協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名・年齢・作品・顔写真等を発表する他、
作品に関する取材があることに同意します
- ☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません

- きつかけ [1] チラシ(どこで:) [2] 学校(小・中・高・大・専門) [3] 読売新聞紙面 [4] 公式ホームページ
- [5] 日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE 公式アカウント) [6] 公募サイト(サイト名:)
- [7] その他(具体的に)

応募締め切り

2025年
10月3日(金)
必着

入賞作品についての著作権

フォト部門は撮影者に帰属します。
エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他
広報物に使用する権利は、主催者が有します。

※氏名は実名のみの受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

自由な発想で書いてみよう!



第75回

作文コンクール

全国小・中学校

部門 • 小学校低学年の部 • 小学校高学年の部 • 中学校の部

テーマ テーマ、題材は自由です。自作の未発表作品に限ります。

枚数制限 400字詰め原稿用紙(表紙を除く)
小学校低学年の部: 10枚以内 小学校高学年の部: 20枚以内 中学校の部: 30枚以内

表彰 各部門の入賞者には、賞状・トロフィー・図書カードなどを贈呈します。
「文部科学大臣賞」1編、「読売新聞社賞」3編、「JR賞」1編、
「日本テレビ放送網賞」1編、「日本書芸院賞」1編、「光村印刷賞」1編、「入選」2編
※学校賞にQUOカード3万円分を贈呈。

発表 2025年11~12月に読売新聞で発表予定

応募方法 まずは公式ホームページから応募登録! 詳細はQRコードからご覧ください。 <https://jigyoku.yomiuri.co.jp/sakubun/>

締め切り

2025年

9/16火
必着



主催 読売新聞社 後援 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

協賛 JR 東日本、JR 東海、JR 西日本、日本テレビ放送網、日本書芸院、光村印刷 協力 三菱鉛筆

読売新聞東京本社 作文コンクール事務局
TEL:03-3216-8598 (平日10時~17時)

読売 作文コンクール 検索

本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTAS) の共通目的基金の助成を受け実施されています。





第75回

全国小・中学校 作文コンクール

応募要項

全国小・中学校作文コンクールは、1951年に創設された歴史あるコンクールです。教科書に掲載されたり、ドラマや映画になったりする作品も数多く生まれています。



応募規定

自由な発想で書いてみよう!

締め切り

2025年

9/16(火)
必着

「応募資格」

国内の小・中学校および海外の日本人学校に在学する児童・生徒

「テーマ」

テーマは自由。ふだんの生活や学校で感じたこと、体験したこと、創作物、読書感想文など広く募集します。

「部門および枚数制限」

400字詰め原稿用紙(B4サイズ推奨)でご提出ください。

小学校低学年の部：10枚以内(表紙を除く)

小学校高学年の部：20枚以内(表紙を除く)

中学校の部：30枚以内(表紙を除く)

「審査」

都道府県審査を行い、各部門で最も優れた作品が中央審査に進みます。

《中央審査委員》(敬称略、予定)

梯久美子(ノンフィクション作家)

石崎洋司(児童文学作家)

山口茂(元東京都中学校長会会長)

土橋靖子(日本書芸院理事長)

木村通子(日本書芸院常務理事)

藤川翠香(日本書芸院常務理事)



「表彰」

小学校低学年・同高学年・中学校の各部門入賞者に、賞状、トロフィー、副賞(三菱鉛筆色鉛筆・図書カード)を贈呈します。各賞の副賞は以下の通り。

- 文部科学大臣賞(1編)：図書カード1万円分
- 読売新聞社賞(3編)：図書カード5千円分
- JR賞(1編)：図書カード5千円分
- 日本テレビ放送網賞(1編)：図書カード5千円分
- 日本書芸院賞(1編)：図書カード5千円分
*文字の美しさも評価対象とします。
- 光村印刷賞(1編)：図書カード5千円分
- 入選(2編)：図書カード3千円分
- 学校賞：QUOカード3万円分



副賞の三菱鉛筆色鉛筆 toirono<24色セット>

「発表」

都道府県審査の結果は、2025年11月に読売新聞地域版で発表します。また12月上旬に中央審査の結果(受賞者全員の氏名と受賞作品の一部)を全国版に掲載します。中央表彰式は2026年2月28日に東京都内で実施予定です。

「優秀作品集」

入賞作品は「優秀作品集」として出版されます。

第74回の入賞作品と都道府県入選者名を掲載した優秀作品集は、通販サイト「美術展ナビ図録・グッズSHOP」(<https://aej.store.yomiuri.co.jp>)から購入できます。

第75回の優秀作品集は2026年3月に発刊予定です。



注意事項

- 応募は1人1編に限ります。 ● 絵・写真などを使用した作品は認めません。 ● 生成AIを利用して作成した作品は応募できません。
- 応募作品は返却しませんので、事前にコピーしてお手元に保管してください。
- 鉛筆(Bまたは2B)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の自筆に限ります。障害などが理由で、応募登録や審査に不安がある人は作文コンクール事務局(03-3216-8598)にご連絡ください。
- 応募作品は自作の未発表作品に限ります。二重応募(類似作品を含む)は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 入賞・入選作品の著作権は主催者に帰属します。優秀作品は読売新聞で紹介するほか、主催者、協賛社のホームページで紹介、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、電子書籍、教材や国内外の出版物などに使用されることがあります。
- 募集テーマは自由です。ただし入賞作品にプライバシーへの配慮が必要な内容が含まれる場合には、紙面、優秀作品集への掲載を控える場合があります。

※ 記載いただいた個人情報を受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、取材、受賞者発表および賞状などの送付、また読売新聞社主催の関連イベントの案内などで使用します。

応募方法

ホームページから 応募登録が必要です。

<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/sakubun/>

ホームページは右記QRコードからアクセス。

または



※インターネット環境（PC・Wifi・プリンター等）がない場合や応募登録がうまくいかない場合は、登録専用ダイヤル（050-1724-6755）にご連絡ください。

※作文コンクール全体に関するお問い合わせは、作文コンクール事務局（03-3216-8598）にご連絡ください。

ご登録いただいた、作品タイトル、名前、学校・学年、指導教諭名は、受賞者発表時にそのまま掲載します。正確にご登録ください。

1. 400字詰め原稿用紙（B4）を使用してください。
2. 作品を書き上げた後、ホームページにアクセスして、保護者とともに、必要情報を登録してください。
保護者のメールアドレス（ID）でアカウントを作成し、下記を登録。
 - 学校（名称、電話番号、学校応募窓口など）
 - 応募する児童・生徒（名前、学年）
 - 作品タイトル
 ※1つのメールアドレス（ID）で、兄弟姉妹の応募登録も可能です。
3. 応募登録が完了したら、個別の作品番号が発行された応募票を印刷して原稿用紙の表紙にのり付けしてください。
4. 作品と合わせて右上端をホチキスで留めてください。
応募票に必要事項の記入漏れがないかご確認ください。
※個人応募の場合も、学校を通じてご連絡しますので、応募票に学校応募窓口が記載されているかご確認ください。
5. 応募票を表紙に添付した作品を、学校が所在する都道府県別の応募先へ2025年9月16日（火）必着でお送りください。
都道府県別の応募先へ送付の際は、封筒の宛名に「作文コンクール係」と明記して送付してください。

【作品応募方法】

- 原稿用紙表紙に、応募票をはがれないようのり付けする。
 - 応募票をはがった原稿用紙表紙と作品を合わせて右上端をホチキスで留める。
- ※作品は2枚目から始めて、枚数を数える際も、2枚目から数えてください。
- ※作品は返却できませんので、応募票を含めコピーを取り、お手元に保管してください。

右上隅にホチキス

表紙

2枚目から始めてください

応募票を貼り付ける

都道府県別 作文応募先

北海道・東北	北海道	読売新聞 北海道支社 総務部
	青森県	読売新聞 青森支局
	岩手県	読売新聞 盛岡支局
	宮城県	読売新聞 東北総局
	秋田県	読売新聞 秋田支局
	山形県	読売新聞 山形支局
	福島県	読売新聞 福島支局
関東	茨城県	読売新聞 水戸支局
	栃木県	読売新聞 宇都宮支局
	群馬県	読売新聞 前橋支局
	埼玉県	読売新聞 さいたま支局
	千葉県	読売新聞 千葉支局
	東京都	作文コンクール東京都 事務局
	神奈川県	読売新聞 横浜支局

中部	新潟県	読売新聞 新潟支局
	富山県	読売新聞 富山支局
	石川県	読売新聞 金沢支局
	福井県	読売新聞 福井支局
	山梨県	読売新聞 甲府支局
	長野県	読売新聞 長野支局
	岐阜県	読売新聞 岐阜支局
近畿	静岡県	読売新聞 静岡支局
	愛知県	読売新聞 中部支社
	三重県	読売新聞 津支局
	滋賀県	読売新聞 大津支局
	京都府	読売新聞 京都総局
	大阪府	読売新聞 大阪本社 次世代開発部
	兵庫県	読売新聞 神戸総局
海外	奈良県	読売新聞 奈良支局
	和歌山県	読売新聞 和歌山支局
	海外	作文コンクール海外 事務局

中国・四国	鳥取県	読売新聞 鳥取支局
	島根県	読売新聞 松江支局
	岡山県	読売新聞 岡山支局
	広島県	読売新聞 広島総局
	山口県	読売新聞 山口総局
	徳島県	読売新聞 徳島支局
	香川県	読売新聞 高松総局
九州	愛媛県	読売新聞 松山支局
	高知県	読売新聞 高知支局
	福岡県	読売新聞 西部本社 事業推進室事業部
	佐賀県	読売新聞 佐賀支局
	長崎県	読売新聞 長崎支局
	熊本県	読売新聞 熊本支局
	大分県	読売新聞 大分支局
九州	宮崎県	読売新聞 宮崎支局
	鹿児島県	読売新聞 鹿児島支局
	沖縄県	読売新聞 那覇支局

※応募先の住所や電話番号は、作文コンクールホームページをご覧ください。

※学校が所在する都道府県に応募してください。

海外から応募される場合は、ホームページ上での作品送付（PDF添付）も可能です。



学校関係者のみなさまへ

日頃ご協力いただきましてありがとうございます。

応募登録が必要となりますので、応募要項の中面をコピーの上、保護者の方にご案内いただきますようお願いします。

担任や国語教諭の方が学校単位でまとめて応募登録いただけます。

【個人応募の場合】（保護者が応募登録し、児童・生徒が直接応募する場合）

1. 応募要項の中面をコピーして、児童・生徒に配布してください。

※個人応募の場合も、受賞通知等の連絡は学校応募窓口の先生にご連絡させていただきますので、ご担当の先生の名前を児童・生徒にお伝えください。

2. 400字詰め原稿用紙(B4)を使用するようお伝えください。

保護者の方にはホームページから応募登録をお願いします。

応募票を印刷し、原稿用紙の表紙にのり付けした上で、作品の右端と合わせてホチキスで留めてください。

3. 応募票に記載漏れがないか保護者にご確認いただき、都道府県別の応募先へ **2025年9月16日(火) 必着**で送付いただくようご案内ください。

【学校単位で応募する場合】

1. 保護者の方に上記の1、2の手順で応募登録していただき、作品を学校で回収してください。

<保護者の方で登録が難しい場合>

担任や国語教諭の方でアカウントを作成いただければ、児童・生徒の応募票が発行できます。

a. アカウントの作成

ホームページの応募登録にアクセスし、学校または学校応募窓口の方のメールアドレス(ID)でアカウントの作成をお願いします。

b. 「学校情報」を登録

送られてくるメール内のリンクからマイページにアクセスして、「学校情報」を入力してください。

c. 「応募者名」を登録

学年ごとに、応募者名簿(姓・名)をExcelファイルでアップロードします。

※応募者名簿は、姓と名を分けていただければ、普段お使いのExcelファイルで構いません。
Excelファイルのサンプルはマイページからもダウンロードできます。

応募票が発行できますので、児童・生徒にお渡しください。

学校による一括応募が
より簡単になりました!

「学校賞」を贈呈!

50編以上の作品を応募した学校から、作文教育において熱心な指導を行っている学校に「学校賞」を贈呈します。

副賞: QUOカード3万円分

学校単位で応募(30編以上)する際に、登録作業を事務局で代行することも可能です。代行を依頼する場合は、学校の先生から登録専用ダイヤル(050-1724-6755)にご連絡ください。

児童・生徒は、手書きで作品タイトル、枚数を記入の上、上記【個人応募の場合】2と同様、原稿用紙の表紙に応募票を貼り付けて、作品を学校に提出してください。

1作品につき1枚「応募票」が必要です。児童・生徒ごとに作品番号が異なることをご確認ください。

※作品は返却できません。保護者の方はコピーを取り、お手元に保管してください。

2. 回収された作品の「応募票」に記載漏れがないかご確認をお願いします。

3. 封筒の宛名に「作文コンクール係」と明記して、学校が所在する都道府県の読売新聞社総・支局に送付してください。

送付の際は必ず、学校名、ご担当者名、お送りされた作品点数を明記してください。

よくあるご質問

応募方法で不明な点がございましたら、ホームページの「よくあるご質問」をご覧ください。

マイページの開設や応募情報の入力方法、学校による一括応募の仕方など、より詳細な説明を掲載しています。

